

October 6, 2021

**【前日の為替概況】ドル円、米 10 年債利回り 1.53%台と NY 株高で 111.56 円まで反発**

5日のニューヨーク外国為替市場でドル円は4営業日ぶりに反発。終値は111.46円と前営業日NY終値(110.93円)と比べて53銭程度のドル高水準だった。9月米サービス部門PMI改定値が54.9と予想の54.4を上回ったほか、同月の米ISM非製造業指数が61.9と予想の60.0より強い内容となったことを受けて、全般ドル買いが先行。米長期金利の指標である米10年債利回りが1.53%台まで上昇したことも相場の支援材料となり、一時111.56円と日通し高値を更新した。ダウ平均が480ドル超上昇したことで、投資家のリスク志向が改善し円売り・ドル買いが出た面もあった。

ウォーレン米上院議員(民主党)は、パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長について「金融システムを効果的に規制できなかっただけでなく、FRB当局者の倫理的な失態に対応することもできなかった」と批判した。ウォーレン氏は先週、パウエル氏がFRBを率いるには「危険な人物」と厳しい言葉を浴びせ、「同氏の再選に反対票を投じる」と表明している。

ユーロドルは3日ぶりに反落。終値は1.1598ドルと前営業日NY終値(1.1621ドル)と比べて0.0023ドル程度のユーロ安水準だった。予想を上回る米ISM非製造業指数をきっかけにドル買いが優勢となり一時1.1581ドルと日通し安値を付けた。ただ、米国株の上昇を背景にリスク・オンのドル売りが強まると1.1613ドル付近まで持ち直した。

イエレン米財務長官は、「18日前後に債務は上限に達する見通し」「連邦債務が上限に達すればリセッション(景気後退)を引き起こす恐れがある」と警告した。

ユーロ円は続伸。終値は129.28円と前営業日NY終値(128.92円)と比べて36銭程度のユーロ高水準。米国株高を背景に投資家のリスク志向が改善すると円売り・ユーロ買いが優勢に。前日の高値129.38円を上抜けて、一時129.39円まで値を上げた。

産油国通貨は堅調だった。WTI原油先物価格が一時79ドル台半ばまで上昇し、2014年以来の高値を更新すると、カナダドルやノルウェークローネに買いが入った。カナダドルは対米ドルで1.2546カナダドルと9月7日以来の高値を付けたほか、対円では88.83円と7月7日以来の高値を付けた。ノルウェークローネは対ユーロで年初来高値を更新し、昨年1月以来となる9.8780クローネまで上昇し、対円では13.09円と6月16日以来の高値まで値を上げた。

**【本日の東京為替見通し】海外勢、スタグフレーション懸念で日本売り仕掛け**

本日の東京外国為替市場のドル円は、ダウ平均の上昇や米10年債利回りが1.53%台まで上昇していることで、底堅い展開が予想される。

原油価格などエネルギー価格が高騰していることで、パウエルFRB議長やラガルドECB総裁の持論である「インフレ高進は一時的」との見解が揺らぎ始めている。サマーズ米元財務長官は、米連邦準備理事会(FRB)がインフレを軽視して利上げが遅れることで、インフレと景気減速が同時に起こるスタグフレーションの可能性を警告している。日本経済は、エネルギー価格の高騰に対して脆弱であることで、海外勢は、日本売り、すなわち、円売り・日本株売りを仕掛けている。インフレリスクは、原油や天然ガス価格の高騰にあり、景気減速リスクは、中国経済の電力不足によるサプライチェーン(部品供給網)の停滞や新型コロナウイルス変異株感染の再拡大懸念が挙げられる。

さらに、8日に発表される米9月雇用統計の改善見通しも、11月の米連邦公開市場委員会(FOMC)でのテーパリング(資産購入の段階的縮小)開始観測を高めていることで、ドル円の買い要因となっている。

ドル円の上値を抑える売り材料としては、イエレン米財務長官がXデーを10月18日と警告している連邦債務上限を巡る不透明感、中国恒大集団のデフォルト(債務不履行)懸念がある。

ドル円の注文状況は、111.50円の7日のNYカットオプションを軸にして、上値には、111.60-90円に断続的にドル売りオーダー、112.00円に大口のドル売りオーダーが控えている。下値には、111.00円に7・8日のNYカットオプションとドル買いオーダーが控えている。

10時には、ニュージーランド準備銀行(RBNZ)が政策金利を0.50%に引き上げることが予想されている。8月の会合では「インフレ期待が制御できなくなるリスクを減らすため、金融政策刺激のさらなる縮小が最も後悔の少ない政策スタンスだ」という認識で一致したものの「ロックダウン措置と公衆衛生面の不透明感を考慮し、今会合でのOCR据え置きで合意した」ことでリスクシナリオは据え置いた場合となる。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>  
特になし

<海外>

- 10:00 ☆ ニュージーランド準備銀行（RBNZ）、政策金利発表（予想：0.50%に引き上げ）
- 15:00 ◎ 8月独製造業新規受注（予想：前月比▲2.1%／前年同月比16.4%）
- 16:00 ◎ センテノ・ポルトガル中銀総裁、講演
- 17:30 ◎ 9月英建設業購買担当者景気指数(PMI、予想：54.0)
- 18:00 ◎ 8月ユーロ圏小売売上高（予想：前月比0.8%／前年比0.4%）
- 20:00 ◇ MBA住宅ローン申請指数
- 21:00 ◎ 8月ブラジル小売売上高指数（予想：前年同月比2.0%）
- 21:15 ☆ 9月ADP全米雇用報告（予想：42.8万人）
- 未定 ◎ ポーランド中銀、政策金利発表（予想：0.10%で据え置き）
- 23:30 ◇ EIA週間在庫統計
- 7日01:00 ◎ 9月ロシア消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.3%）
- 欧州連合（EU）首脳会議
- 中国（国慶節）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

5日 09:14 岸田首相

「バイデン米大統領が日米安保条約の尖閣適用をコミットメント」

5日 15:54 鈴木財務相

「ゼロ金利のもとで財政投融资を積極的に活用」  
「デフレからの脱却に向け大胆な金融政策に取り組む」  
「賃上げに積極的な企業に追加支援を検討」

5日 16:06 トルコ中銀

「エネルギーやサービスの価格が9月CPIに影響を与えた」  
「コアインフレは依然として高いことを示唆」

5日 16:25 ジョンソン英首相

「(供給危機について)需要が要因で、供給危機ではない」  
「労働ひっ迫は、経済の強まりの兆候」

5日 20:40 イエレン米財務長官

「10月18日を債務上限の期日とみている」  
「議会で債務限度を引き上げる方法を理解するのはペロシ氏、シューマー氏次第」  
「債務上限を引き上げられなかった場合、ドルの準備状況に損害を与え、景気後退を引き起こす」  
「債務上限を引き上げるための超党派の行動を支持」

5日 22:36 ゲオルギエバ国際通貨基金(IMF)専務理事

「ビットコイン、暗号通貨をお金として考えるのは難しい」

5日 23:52 シューマー米上院院内総務(民主党)

「水曜に上院は民主党の債務上限案を進めるために投票を行う」

6日 00:16 ウォーレン米上院議員(米民主党)

「FRBには明らかに問題がある」  
「FRBによる利権の出現の余地はない」  
「FRBと米経済にとってパウエル氏はいない方が良い」  
「FRBは巨大金融機関に立ち向かうべき」

6日 01:23 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁

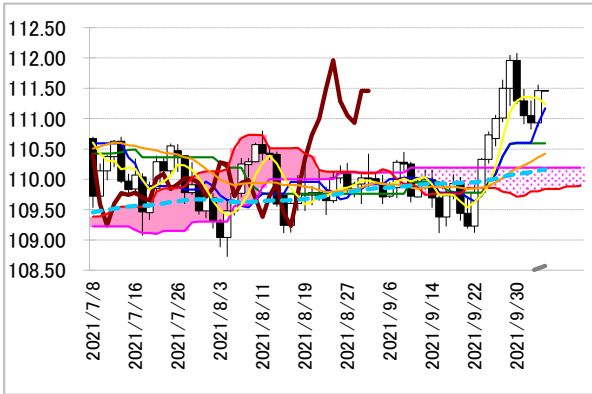
「賃金動向に細心の注意を払う」  
「供給不足やエネルギー価格の上昇に過剰に反応するべきではない」

6日 05:59 バイデン米大統領

「パウエルFRB議長を信頼している」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

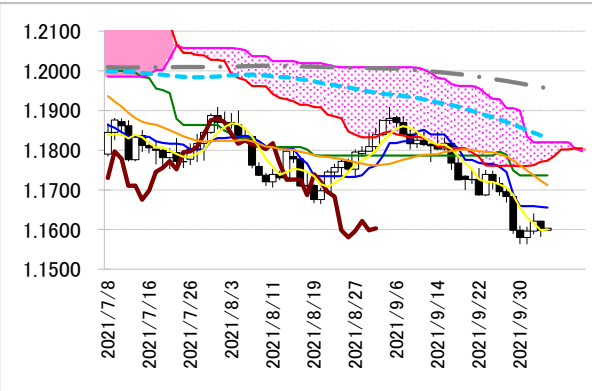


### <ドル円=基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。3手連続陰線で下落した後、抱き線で反発して、転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	112.40(2019/4/24 高値)
レジスタンス 1	112.08(9/30 高値)
前日終値	111.46
サポート 1	110.60(日足一目均衡表・基準線)
サポート 2	110.19(日足一目均衡表・雲の上限)

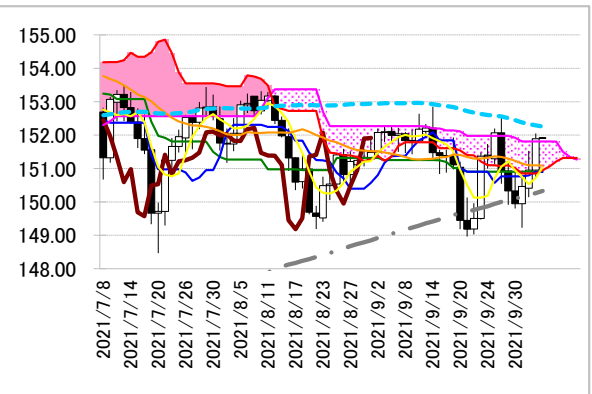


### <ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。2手連続陽線で反発した後、孕み線で反落し、転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1656(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1598
サポート 1	1.1563(10/1 安値)

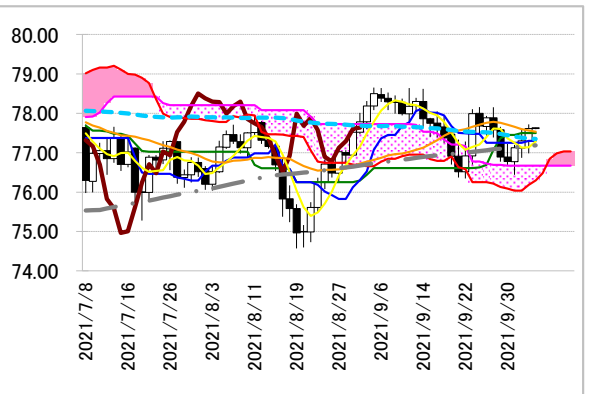


### <ポンド円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回っているものの、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることから、買いシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陰線で上昇し、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	152.57(9/28 高値)
前日終値	151.89
サポート 1	150.90(日足一目均衡表・転換線)



### <NZドル円=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回っているものの、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることから、買いシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陽線で上昇し、転換線を上回って引けていることから続伸の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	78.62(9/14 高値)
前日終値	77.61
サポート 1	76.67(日足一目均衡表・雲の上限)

